

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

議会広報広聴調査会記録

平成 30 年 2 月 5 日(月)

9 : 00 ~ 9 : 50

議 会 第 1 委 員 会 室

- 【出席者】 小川委員長、川上副委員長、
三浦委員、沖田委員、西川委員、村武委員、笹田委員、芦谷委員、
田畑委員、澁谷委員
- 【事務局】 篠原次長、田中書記
-

議 題

- 1 議会報告会の運営について
 - ・議会報告会日程：5月14日（月）～17日（木）
 - ・秋の議会報告会は未定
- 2 その他
 - ・行政視察：次の委員会までに日程を決定

【議事の経過】

[9時 00分 開議]

小川委員長

後の日程の関係もあって9時50分くらいには終えた方が良いでしょうと思いますので、集中的に短い時間ですがお願いしたいと思います。今日の議題については議会報告会の運営についてという1つのテーマでやっていきたいと思っています。

1. 議会報告会の運営について

小川委員長

議員研修会の時にこちらをお渡しして、初めての方は一応目を通していただいた方が良いでしょうとお渡ししました。こういう形でパワーポイントで説明をした後にやるという形が、去年までの数年間のやり方です。議会報告会には議会報告会の規定というのが例規集の中に載ってまして、年に1回以上やることになっています。この規定でいくと開催場所も市内10ヶ所となっていますが、例年8ヶ所程度に絞ってやってきてまして、昨年もそのように開催しています。やるかやらないかも含めての話をきちんとしていませんでしたが、私とすれば今までの流れがあるのでやる方向でと思っていますが、まずその点についてご意見がございませうか。芦谷委員。是非やるべきだと思います。

芦谷委員

小川委員長

やらない方が良いでしょうという方は多分おられないと思いますので。そのことはどうでしょうか。例年通りやるということで。年に2回か1回かというのは別にして、年に1回以上というのは規程にありますので。去年までは春の議会報告会と秋の井戸端会という形で開催してきたので、それを1つの参考にしながら、やることについてはやるということで、あとは中身を充実させ、参加者を増やす取り組みをしていくことにしたいと思っています。そのように決定でお願いしたいと思います。

議会報告会は今までも、テーマを設定した方が良いでしょうか、それともせずに開催するかも提案されていましたが、その点についてはどうでしょう。2017年春については、議会報告会と井戸端会をミックスしたような形でやろうかということで、議会報告はもちろんしますが、その後は机を合わせて井戸端会方式で何グループかに分けてやる形で取り組んでいます。その時はテーマを設けずにやっています。テーマを皆さんに出してもらってそれを持ち寄るのも1つの方法としてはあるんですが、その辺りについてご意見があればお願いします。テーマを設けるか設けないか。西川委員。

西川委員

配布していただいている24年度から参加人数が書かれた表がありますが、24年度から合計241、269の推移があって、これらの方々が別の資料による

と年齢層がほとんど60代、70代の方ですが、毎回同じような方が同じような内容を話にこられるのか。だったらある程度変更する必要があると思うんですが、ただ若い人がいないのももう少し若い人が来られるような内容も取り入れていくのが良いのではないかと思います。

小川委員長

テーマを決めてということですね。

西川委員

テーマを決めて、継続であれば報告内容を皆さん楽しみにして来られているので、テーマがメインになると思うんですけど。また新しい人を呼ぶのであればテーマを絞って、いつも報告プラスこれ、みたいなテーマを新たに作って会ごとにやって、若者が来るようなトピックス的なテーマを挙げてやるのが良いのではないかと。

小川委員長

川上委員。

川上委員

私がだいたい全部行っている。多分行ってますよね。

田中書記

はい。

川上委員

だから状況が分かっているんですけど、先ほど言われたように、内容が一緒であれば同じ人が来ます。内容が一緒だから。トピックス的に何かをやると、必ず飛びついてきます。これはわかります絶対に。だからそれはやるべきだと思います。そうやっていく必要があると思います。特に若者ですので、子育て支援センターの話を出すとか、その代わり、それを知らせる方法をしっかりやらなければならない。これは金城でたくさん来ます。これは全て自治区の区長関係、支所長、まちづくり委員会の案内で来ます。トピックスを作って若者にお知らせすると、特に金城なら若者だけのチームが出来つつあるので、そういう所へ投げてやれば良いと思います。トピックス的に何かやる。その辺についてはお若い方々に案を出していただければ良いと思います。私としては支援センターなどの話題が必要だと思います。

小川委員長

澁谷委員。

澁谷委員

僕は全く考え方が違うんです。春の段階は3月議会の報告に結構時間もかかるので、去年の内容は非常に良くないと思っています。3月の大きな事業の説明だって、条例が可決したとかしないとか、条例のことを説明しても市民の方ほとんど分からないし、それよりもっと大きな事業とか市民の皆さんに密着した予算がこれでしたという説明をメインにすべきだと思います。その後の意見交換にテーマを決めるのは、秋の段階ではそういうこともあるかもしれませんが、時間が限られてきているので、意見を聞くなら何でも良いと思いますし、浜田市で子育て支援センターと言ったって、はっきり断言するけど若い世代はほとんど来ない。そんなことをやっても

来ない。今まで何年もやっていますが、来るのは時間と余裕と関心のあ
る方、そうするとどうしても60、70代になる。子育てが大変な人は滅多に
来ない。そのために一番配慮しなくてはならないのは、その人たち何人か
は来られるわけです、女性とか。その方は出にくいということをいつも言
われるわけだ。7時は出にくいと。だから一度、全部土日に開催してみま
しょうと言った。それでやって来なければ仕方ないけど。そういう声が結
構あるので。4年前と3年前は副議長だったので20回全部出ているのだが、
その時の意見の中ではそういう声があった。それは1回配慮しなくてはい
けないなど。テーマを決めるというのは言葉としては格好いいんだけど、
テーマに関心のない人は来ないということになった場合には非常に限られ
るなど。今でも限られているのに。人が集まってくるのは今までの実績で
は金城と旭です。それ以外はほとんど人が集まってこない。旧市内も石見
公民館がまあまあ来る程度。国府と長浜と周布なんていつも4、5人しか来
なくて、職員さんが5、6人来るから10人になるパターン。色んなことやっ
て宣伝してポスターを貼ったとしてもそういうことがあるので、春は間口
を広げるべきだと僕は考える。

小川委員長
芦谷委員

他にご意見ありますか。芦谷委員。

テーマを絞るのは大変難しいと思います。浜田市政とか市議会に物申す
ということで、色々なことを言ってもら。その中で展開によってそこに
いる議員で上手いこと相手をしながら、何となく会場では市民が参加して
物を言ったという雰囲気の中で、何か1つの方向性なり市政や市議会に対
して物申す状況が導き出されれば良いなと思うんですが。いつも大変難儀
します。

小川委員長
笹田委員
小川委員長
笹田委員

笹田委員。

まず報告会するんですけど2回するのですか？

秋にやるという前提にすると春はこういう状態になりますね。

なるし、僕らも始めた時は人を集めるのが大変だということで色々やっ
たんですが、澁谷さんが言われたように土日開催しましたよね。その時は
あまり変わらなかったんじゃないですか。

田中書記
笹田委員

はい。

結果的には変わらないでしょう。結局言われたように、興味がある人は
来るんですよ。いつ開催しようが何をしようが、興味がない人はこられな
い。だからいかに興味を引くかが鍵になってくると思うんですけど、数年
やってきてそこが非常に難しい所だと感じている部分です。確かにテーマ
を決めたからといって人が増えるわけでもないし、出やすい時間だからと

いって出てきてくれるわけでもないのに、興味を引くにはどうすれば良いんだらうかという所が、鍵になると思います。ただ、若い人はやっぱり関心はないです正直言って。選挙の時は盛り上がりつつも、終わった時に「では市議会は何かしてくれるのか」といって皆さんそういう期待は持っておられませんので、興味ない限りは来てくれないと現時点では思います。まず2回するのかどうかからしっかり議論しないと、なかなか進まないのではないかと思います。

田中書記

すみません、土曜日開催はありますが日曜開催はないです。

小川委員長

春と秋にやるなら、春は例えば3月議会の予算中心にして報告して、意見をもらうという形で、秋は例えば若者向けのテーマを作って、是非参加してくださいという形でやるかという。春と秋でやるならそういう棲み分けができるけど、1回以上ですので春に1回やれば良いわという意見が多かったですけど、例年どおり春秋でやるなら春はこういう形でいこうかということを含めていきたいと思いますが、どうでしょうか。笹田委員。

笹田委員

もう1個あると思います。もし1回で良いなら最初に市民に直結するような3月議会の話をした後、次の段階でテーマを絞らずに言いたいことを言ってもら。1回にするのであれば、そういうのも可能かだと思います。委員長が言われたように別でやる方法もあるし、もう1個、3回以上やるという方法もあるんですけど。その辺しっかり、どういうふうに伝えていくか、呼び込むのも含めて議論した方が良いかだと思います。

小川委員長

三浦委員。

三浦委員

若い人たちもそうですけど、何故関心がないかって分からないから関心がないという所もあると思います。そうすると議会からの報告をきちんとするというのも時間を取ってやる必要があると思います。なので、その時間をきちんと確保するべきだということと、それからこれはお伺いですが、各所管委員会で分かれてテーマごとにその会を開催したということは無いんですか。例えば産業建設委員会が所管するテーマがいくつかあると思いますが、そうするとテーマは1つではなくて少なくとも常任委員会には3つあって、それぞれ3つには行く機会を作れるような気がするんですけど、そういった取り組みとかご検討はこれまでされたことないんですか。

小川委員長

今までそれはやってないですね。

笹田委員

議会報告会ではないです。各地域の課題を持ってテーマにしたことはあります。中山間地域の課題、例えば弥栄は弥栄の課題を持っていってテーマを絞ったことがありますし、各自治区で興味がありそうなことを自治区と相談してピックアップして、それでやったことありますが、常任委員会

ごとに議会報告会をとということはないです。

三浦委員

そうですか。

小川委員長

班編成として各常任委員会メンバーがバランス良く配置されるようにしています。ですからテーマを常任委員会ごとに集中して、例えば総務文教委員会についてのテーマでやるといった形ではやってないです。芦谷委員。

芦谷委員

三浦委員の言われたことは傾聴に値します。各常任委員会の中で、例えば福祉環境委員会と言えば、障害のある方々の団体、育成会ですか、これとの意見交換会もしていますし、明日は社協とやります。各常任委員会で議会報告会だ公聴会ではなく、委員会独自の活動の中でそういうことをするのは非常に大事だと思って。広報広聴そういった動きも考えていただいて、やれば良いと思います。

小川委員長

田畑委員。

田畑委員

議会報告会は基本条例で決まっていますので年1回以上はしなければいけないと思いますし、5月に例年実施している報告会においては3月定例会の主な事業説明を基本的にはやってきました。パワーポイントでやると20分から30分くらいになります。それについての質疑応答もやるんだけど、ほとんど質問がない。会場によって地域性がありますよね。去年浜田公民館で松原殿町の人に来て、自分たちの地域の防災はどうなっているんだと、こういうことです殿町の人があれば。避難場所を城山にしろとか。そういう自分たちの小さな枠。地域によって、これが周布や長浜に行くと全く無関心。中山間に行くと農林業の問題や介護福祉、そういった総合的な話が出ますが。地域の実情に見合ったような話の仕方を。浜田公民館でやるのに中山間の話をしてもどうしようもないし。浜田公民館エリアでやるならこの地域の課題は何だろうかということも、我々も考えていかないと、意見が全く出ません。石見・国府・長浜・周布・旧浜田市は。秋の井戸端会も30分あれば終わるような恰好になります。同じやるなら意味がないので、各地域の課題を我々議員側もある程度察していかないとまずいと僕は思います。これは5月に実施しようとしている報告会にしても同じことだと思います。30分あれば終わる。1時間半の時間を取っても。それが一番大切だろうと思います。

小川委員長

澁谷委員。

澁谷委員

議会改革で議会報告会をやるとか、市民の方が出やすいように夜に開催すると書いてありますが、土日1回開催しましょうという議会もあるわけです。でも実際的にどこの自治体も議会も人が来ないわけです。思いとギャップがあるかもしれないから逆に、土日開催や夜開催するよりも、と

にかくケーブルテレビやYoutubeに流そうとかいう流れになってきています。議会報告会が成功している所はどこにもない。皆マンネリ化しているから人数が減っている。それでも市民との距離を縮めるためにはやっていくという感じで続けている所が多い。今回は新人議員さんが半分くらいおられて、1回は肌で感じてもらう。僕らがこうして話していることも「そうじゃないだろう」と思っておられると思うんだけど、肌で感じてもらうないと。その中で個人的に攻撃される市民の方がおられて、どう抑制していくかとか。現実問題として色々なことがあるわけです。例えば後から聞いたらすごく文句を言われて、議員に文句を言うなら貴方が議員になって出てきなさいということもあるわけです。そういうことを肌で感じてもらうって改革していかないと難しいかなと。僕らは消極的だし新人議員さんは積極的で、もっとこうすれば出来ると思っておられるかもしれないから。そういうのはどうですか。

川上委員

3月議会の報告会を1回してみると本当に状況がわかる。僕は今までそういうことを見ていますので、しっかり見ていますので。

澁谷委員

川上さんは絶対色々言うから、その対策を打たないといけなかった。でも川上さんには3回くらいしか振らないとか言っていて30分でも1時間でもお喋りになるとかね。あんなようなことも打合せしないとイケないとか、現実問題としてあるわけです。弥栄に行けば村上さんがほとんど喋られて他の市民の人は皆呆れて、でも私に喋らせろ喋らせろと。僕はその時ファシリテーターで、捌いたら後でものすごく文句を仰られる。お前が喋らせなかったと。でも貴方もう30分も喋っていらっしゃるから他の人に喋らせてあげてくださいと言っても分からないんですよ。そういう現実的な苦勞もあるから。

小川委員長

村武委員。

村武委員

私も今回、視察の件もあったので色々調べてみました。議会報告会で上手くいっている、それをやることによって良くなっている所があるかと思って。でもなかなか見つかりませんでした。あと私は前職が国府公民館に居て、ポスターだったりチラシだったりを持ってきていただきましたが、結局市民の方はこの議会報告会とはそもそも何ですかという所から分かってない部分があつて。参加する場合は、ここに行って何が出来るのか、何を聞けるのか、自分の言った意見がどうなるのかという所が多分分からないから来られないというのが1つの原因ではあるのかなと思います。そこを分かりやすく市民の方に伝えていくことも必要ではないかと。多分それがなければ、土日で開催したりとか、そこを考えてもあまり参加人数は

変わらないのではと思います。

小川委員長

田畑委員。

田畑委員

去年の議会報告会、井戸端会と人数は一緒だったか。

田中書記

はい、去年は改選時だったので。

田畑委員

去年5月に浜田公民館でやった時に、歴史館にもものすごく賛成の方がいた。それでガチガチです。歴史館ありきという発想で発言されて、そんなことを言うなら貴方市議会議員で出ろと僕が言って大喧嘩。議員批判とか、政策的判断を市民の方が決めつけて来られると、良い報告会にならない。去年3月に歴史観問題の話がありました。それに賛成派の人が来て、もっと議論すべきではないかという声になると、ものすごい声です。収めるのが本当に大変。

小川委員長

笹田委員。

笹田委員

こうして意見が出ているので、春も報告会して、秋ももう1回、新人さんにどう感じてもらったかでどうやって改革して井戸端会をするかという方向で、今年やってみたらどうでしょうか。三浦君も沖田さんも議会報告会に行っていましたか。

(「行ってないです」 という声あり)

そうなんです。俺も議員でなければ絶対行かない。興味がないし、三浦君が報告は大事ですと言った所で、議会報告会でそういう報告してもあまり意味がないと思っています、数年やってきて。若い人に説明するのはもちろん必要だけど、今来ている人に同じことを毎回説明するのはナンセンスだと思っています。だから生活と直結した、水道費がこれだけ上がるだとか、ああいうことを説明してあげた方が質問も返ってくるだろうし、そういう報告をするべきだと思います。もちろんだういったものかの説明は必要だけど、それは議会報告会ではなく違う所で説明して、議会報告会へ来てもらう方向の方が、時間の無駄にならずに済むかと思います。いくら言っても結局来ないですよ。それが現実です。だから1回やってみて、2回目に井戸端会にどうやって人を集めるかを工夫してもらう形でやったらどうですか。

小川委員長

笹田委員が言われたように、秋にもやっていくということで。春は5月に3月の当初予算の話を含め市民生活に密着する所を中心としながら、やり方とすればこのパワーポイントでという形になりますが、不要部分は省いて必要最小限と、本当に市民の方が知りたい情報ということで、これを作るだけで多分大変。今までは毎年野藤さんがこのパワーポイントを作ってくれていたんですが、これだけでも技術的にも大変だと思いますが、中

身も少し検討して、参加した人が次回誰かを連れて来れるような報告会になれば自然と増えてくる可能性もありますので。先ほどから出ているように報告会は春と秋にやるということで、春は予算を中心としてやってみようということでもよろしいですか。特にテーマは3月当初予算ということで。あとは参加される方のご意見をいただいて、それをとりあえず経験していただいた中で、秋にはこうしていこうとか、来年春の議会報告会こうしていこうとか、経験する中で出てくる部分もあると思いますので、そういう形でよろしいですか。中身をどうするかはどなたかまた担当していただく形になると思いますが。

澁谷委員

三浦さんがやったら去年の何倍も良いもの作るのでは。

川上委員

パワーポイントの途中で議論した所までを声で出せると違うと思う。

小川委員長

村武委員。

村武委員

聞きたいのですが、市民の方からの意見要望の回答というのは、どなたが回答されるんですか。

澁谷委員

今それが、議会報告会の一番つまらない所なんです。要するに執行権がない人間がいくら聞いても答えられないから、それをまとめて執行部に渡して、貰った返事をまた議会だよりの最後にかくらいのことなんだから、臨場感というか、その場ですぐキャッチボールが出来ないのです。予算は市長が付けるかどうかなんだから。だから議会報告会が自己満足で終わるんだ。僕がその場でやりましようと言えればキャッチボール出来るけど、ただ聞いて帰るだけなんだ。だから市民の皆さんにとっても、言いつばなし。面白くない。なんだ議員は何も力を持ってないのかという感じで受け止める人もいるかもしれない。だからだんだん、行っても面白くないとなる。本当ならこういうことは執行部がやるべきことなんだ。市民と距離を近づけようと思ったら。そのギャップがある。

川上委員

覚えているかな、だいぶ前に、執行部が地域に事業説明会をしたことがある。火葬場について。ああいうのを本当はすべきだ。それを元にして今度は議会としてやれば違うと思う。だから澁谷委員が言うように、議員は執行権がないから、僕なんかあれこれ言っていたけど、結局こういう時に初めて分かる。

田畑委員

1つは議会報告会をやって、例えば班編成を組んで浜田公民館でやった時もこういう意見や要望が出る。それを我々はその時に参加した議員の誰かが一般質問に反映させて、予算がつくつかないはまた別の問題としてもそこまで取り組んでいる姿勢が、市民の皆さんに伝わっているか伝わっていないかは大変大きな問題なんだ。我々も聞きつばなし。執行権が無いか

らやむを得ない部分はあるかもしれないが、一般質問で反映してあげると、結果として出来るか出来ないかはまた別の問題として、全議員が同じ立ち位置で意見は聞くべきだと私は思う。そうしないと本当に意味がない。あの公民館へ行ってあの人とあの人とあの人があれば喧嘩しに行くようなものだ。そうではなくて反映させなければいけない。

笹田委員

今までは一般質問に取り入れる人もおられましたよね。その解答はピックアップして議会だよりに回答も含めて載せて伝えていきますし、ホームページでも伝えていきます。直接その人にといいのはなかなかしていませんが。

ただ、報告会で個人的なことは言えないのです。僕はこう思っているけども、ということも言えません。議会としてこうです、議会としてこう取り組んでいますしか言えないので、余計に腹が立つと思います。だったら個人として別で話をすればいいですけど、だからそういう難しさもある。例えば誰々議員は一般質問で取り上げましたと議会だよりに載せるのも良いかもしれませんが、またそれとこれとはなかなか難しい所もあるし、だったら自分の一般質問の中で一言、議会報告会で聞いた意見はこうだった、こういう質問が出たがどうかというのがあれば、この人は議会報告会で聞いたことをやってくれているのだと分かるし、そういった還元の仕事しか今のところ方法はないと思います。一応ホームページで返したりして、要望についてはやっていることはやっています。

川上委員

うちはやっとなんさんが議会に注目するようになりました。その程度です。それ以外ありません。ですのでどこかで何か還元することを考えないといけない。還元すれば多分注目してくれると思います。その方法をもう少し検討する必要があるかと思っています。

澁谷委員

全体的に議会で活動しているけど、議員個人のパフォーマンスにもしなければいけないし、笹田委員の意見は大変良かった、何々議員が意見を聞いて質問しましたと載せれば良いし、それはまた個人のパフォーマンスに繋がるから、どこで切り分けるか。私が入った20年くらい前の時には、議会の一般質問に名前を付けること自体がおかしいと先輩議員から言われていた。それは完全に個人のパフォーマンスではないかと。議会全体でどういふ質問をしたかが分かりさえすれば良いと。名前を載せるだけでも10年くらいかかったかもしれない。視察を見ていくとどの自治体も名前が出ているから浜田も徐々に変わってきた。今はもう当たり前になっている。そういう折り合いを付けるというか。議会全体で載せたりとか調和を図りながら推し進めようとした場合に、設置を進めようとしている部分は簡単なようで簡単ではない。

小川委員長 難しさはありますが、その中で広報広聴とすれば報告会を通じて、市民の皆さんと議会がどう結び付くかというのは、1つの方法として開催してきているので、中身については確かに色々な要素が含まれているし、難しさもあります。その中でそういう気持ちを持ちながらとりあえず当面5月に向けて進めていくということをお願いしたいと思います。

一番ネックはこれをどう作るかです。

笹田委員 それよりも、まずどこでいつやるかではないですか。

澁谷委員 そういうことは案外若い人が……。

田畑委員 班編成とな

澁谷委員 斬新なんだ。

小川委員長 事務局と相談したのは……。

田畑委員 班編成。

澁谷委員 班編成は正副委員長に任せるが、日程をどうするか。

小川委員長 日程は今年のカレンダーでいくと5月17、18、19日の木金土あたりの週ですね。あらかじめ日程が入っている方がおられたら避けた方が良いと思いますが。

川上委員 18日はバツです。僕に串崎さん、上野さん、永見さんが駄目。7時から9時まで。

笹田委員 土曜にやるかどうかを決めておかないと。

小川委員長 日曜開催したことはないと言われたので、日曜も1回くらいやった方が良いでしょう少し変えても良いし。24日からにするか11、12日あたりでも良いんですけど。

笹田委員 前はその週でしたね。

小川委員長 2週目になるのかな、ゴールデンウィーク明けの木金になっていました。それでも良ければその辺りで。

澁谷委員 田植えは終わっているのかな。

田中書記 終わっているのではないですか。

川上委員 それはいけない。5月27日の終わりまでは土曜の昼間にされると、最後の田植えをする人もいるから。僕は26、27日だから。

小川委員長 女性の方が出席しやすいということで、夕方の7時よりも土曜の日中を設けましたが、それで実際増えたわけではありませんが。

田畑委員 それも原案作っておいてよ。

澁谷委員 任せるわ。

小川委員長 最初17、18、19あたりはどうかというのを案として考えていたのですが、止めた方が良いかそれで良いか。

澁谷委員	8ヶ所にするの。
小川委員長	どちらでも。
澁谷委員	8ヶ所にすると4チーム作ったら2回で済むんだよね。
田中書記	はい。
澁谷委員	10ヶ所にすると3ヶ所回る班と2ヶ所で済む班とで不公平が出てくるんだ。そういう難しさもある。秋は今度は逆にするとか。
田畑委員	国府会場やめようよ3人だよ。
田中書記	土曜日開催はあるということですかね。日曜日は。
澁谷委員	春か秋かどちらかは。それで来なければ来ないで良いけど、一度は。出難いという声を聞かないか。
田畑委員	長浜で日曜に1回あったかな。
田中書記	いえ、日曜はやったことないです。土曜ですかね。
川上委員	連休明けの土日ならもう遊びに行くことないので基本的には。
田中書記	では5月の11、12、13。金土日になりますが。日曜をどうしますか。
田畑委員	旧浜田市は日曜にやっても良いわ。中山間はちょっと難しいかもしれない。
笹田委員	今回春は同じようにして意見を聞いて、秋にその意見を取り入れてやる。土曜は逆に少なかったイメージがあるんですよね。
	〈以下 日程について協議〉
小川委員長	日曜も入れた方が良いなら13、20、27どこが良いか。
笹田委員	それは春に参加者に聞いてみて、秋にしてみれば良いではないですか。
小川委員長	では今回は全部夜で良いですか。
笹田委員	田植えやらあるんでしょう。日曜の夜なんて尚更来ないでしょう。日曜なら昼間でしよう。
澁谷委員	土日は基本的には昼間だ。午前と午後。
村武委員	土日の夜は無理です。
澁谷委員	それなら月火水木金でやるんだ。
村武委員	土曜だったら昼間とか午前中とか。
澁谷委員	秋が土日で、今は夜にしよう。
笹田委員	まず新人さん初めてなんだから、今までと同じようにやって経験してもらいましょうよ。
小川委員長	やるのは8ヶ所で良いですか。
澁谷委員	8ヶ所で決めよう。あと正副委員長で班編成と場所を決めて議案を出して。それでやろう。

小川委員長
澁谷委員

田中書記
笹田委員
小川委員長

日程はどうしますか。
平日の夜にしようと言っているじゃないか。7、8、9、10か、14、15、16、17でしょう。18が駄目だということを配慮するなら。
5月の14、15、16、17、2ヶ所ずつですね。時間は7時から8時半まで。
14から17までね。
では少し強引ですが、5月の14、15、16、17、月火水木ですけども、毎日2ヶ所ずつということで。時間は19時から20時30分まで。あと場所を決めて広報はまだにも載せないといけないですし、それに基づいてチラシも作らないといけないし。

澁谷委員
小川委員長
笹田委員
田畑委員
川上委員
田中書記

3月議会の議会日よりが5月1日に発行されるんですよ、丁度いい。
それを見て意見を持ってくる方もおられるかもしれない。
場所8ヶ所はメインの公民館で良いですか。
今度は……。
どこか変わった所をやるのに越したことない。
金城はみどりかいかん。
(「それはいい」という声あり)

2. その他

澁谷委員
芦谷委員

澁谷委員
小川委員長
澁谷委員
芦谷委員

芦谷委員
田畑委員
芦谷委員
澁谷委員
芦谷委員
澁谷委員
小川委員長
芦谷委員
小川委員長

それと視察の日程を今日決めておいてもらいたいのだが。
新聞情報で、長野県の飯綱町という所が、議会報を使った町民モニター、それから発展した政策サポーターをやっています。これが面白いと思ったので。あと皆さんから意見をいただいて……。
任せるから日程だけ抑えるから言ってよ。他と重なるから。
4月に毎年やっているのそこでやるか、それとも秋に行くかという話。
他の日程を入れるから。
早急に決めます。次の広報委員会までには決めますので。是非皆さんこという所があれば提案してください。
九州でも良いですよ、もし良いのがあれば提案してくだされば。
任せたんだから任せるよ。
了解しました。是非良い所があれば紹介してください。
幹事は1人なのかな。
一応させてもらって……。
2人くらいで。
4月に無理して入れなくても良い気もするんですけども。
どうですか皆さん。
議会報告会とか色々5月にやった中で……。

笹田委員 田畑委員 芦谷委員 小川委員長	視察相手に任せます。 私は4月開けてあるんだがな。 では考えてみます。 あまり無理しない程度でお願いしたいと思います。あと議会報告会についてはチラシとポスターを各議員さんに持って帰ってもらって、地元や講演会や組織に配ってもらうのですが、あとそれに合わせて田畑さんの時にはケーブルテレビでやったようなことがあったでしょう。議会報告会をやりますと。
田畑委員 田中書記 小川委員長 澁谷委員 村武委員 澁谷委員 村武委員 芦谷委員 小川委員長	チラシをそのまま。 いえ、浜っ子タイムズに出られましたよね。 やった方が良いかどうかを検討しようかなと。 やっても効果ないかもしれないけど自己満足だ。 でもケーブルテレビは良いと思いますよ。 大概見ないでしょう誰も。 そりゃまあ出たい人は出れば良いと思う。 私はもう良いわ。 そういう案もこの間あったもので。無理してやった方が良いかどうか。打合せがあるんですよ。
田中書記 川上委員 田中書記	はい、打合せがありますし、あと行って撮影に2、3時間はかかるんです。 一応考えてみますということにするか。 では正副一任でよろしいですか。 (「はい」という声あり)
田中書記	やらない時にはこの辺に枠が出て、文字放送には載せてもらうんですけど。
小川委員長	あとの日程もありますので以上で終わりたいと思いますが、あとは班編成と場所の関係は事務局と相談して早めに決めて、皆さんにお知らせしたいと思いますのでよろしくお願ひします。
芦谷委員 田中書記 小川委員長	次回の広報委員会はいつかな。 一般質問の最終日です。3月1日になります。 その他皆さんから何かありますか。 (「なし」という声あり) では、早朝から皆さんにお集まりいただきありがとうございました。以上で広報広聴調査会を終わります。

[9時 50分 閉議]

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 小川 稔宏